

令和4年度事業報告

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限が徐々に緩和され、日本の経済活動は、緩やかな回復基調を維持してきました。

こうした状況を反映し、寄居町シルバー人材センターの事業活動も、運搬・清掃部門を中心に受注が拡大し、新型コロナウイルス感染拡大前の水準にまで回復したところがあります。

結果、令和4年度の請負事業における契約金額は、前年度より16,468,880円増の191,072,520円(前年度比9.4%増)で、受注件数は2,098件(前年度比10.5%増)。内訳は、公共159件(前年度比14.4%増)、企業等374件(前年度比36.0%増)、個人1,565件(前年度比5.5%増)でした。

また、派遣事業の受注件数は、前年度より3件減の21件。契約金額は、前年度に比較し2.1%増の29,950,513円となったところであります。

なお、令和9年度までの5年間を計画期間とする第1次中長期計画を新たに策定し、中長期的な展望に立って積極的に事業を展開していくこととしました。

1 安全・適正就業の推進

安全・適正就業委員会による現場巡視を実施し、指導・助言を行うとともに巡視結果を会員に周知し、安全意識の高揚を図りました。

また、安全・適正就業だよりを定期的に発行し、事故防止や健康管理などについて注意喚起を図りました。

さらに、植木・草刈班を対象とした安全教育を2回開催し、事故防止等に努めるとともに、刈払機操作研修会及びチェーンソー作業従事者特別教育講習会に5回(10名)参加し、知識と技術の向上に努めました。

上記のとおり、各種安全対策を講じましたが、令和4年度においては、除草作業中の飛び石による車両のガラス破損事故等が5件発生し、賠償責任保険の適用を受ける結果となりました。引き続き、事故ゼロに向けて安全就業の推進に努めてまいります。

2 会員の入会促進

入会説明会を毎月2回開催したほか、「シルバーだより」への記事掲載、リーフレットの備え置きなどにより、会員の入会促進に努めましたが、令和4年度の入会者は34名(男性20名、女性14名)、加齢や病気、家庭の事情などによる退会者は29名(男性19名、女性10名)で、令和4年度末の会員数は前年同期と比較し5名の増加に止まりました。

3 就業機会の拡大

コロナウイルスへの行動制限が緩和される中、企業訪問やホームページによるPR活動に努めた結果、15の企業と165の個人から新規に受注を得ることができ、会員の就業機会の拡大に寄与しました。

また、一般労働者派遣事業の拡充に努めるほか、寄居町が設置した協議会へ引き続き参画し、社会福祉関係団体との連携による福祉・家事援助サービスなどの可能性についても検討しました。

4 就業機会の提供

会員に毎月郵送している配分金通知に求人情報を同封するとともに、ホームページに「お仕事情報」のサイトを新たに立ち上げ、リアルタイムな情報と公平な就業機会の提供に努めました。

5 シルバー事業普及啓発の推進

ホームページへの、お仕事情報やお知らせ記事、会報等の掲載に加え、「シルバーだより」の発行や「カレンダー」の作成配布などにより、センター事業の普及啓発と周知に努めました。

また、「お客様満足度調査」及び「会員意識調査」を新たに実施し、発注者側から見た会員の仕事に対する満足度やシルバー人材センターに対する意見・要望に加え、会員の意識や就業状況、センター運営にかかる要望等の把握に努めました。